

二重線 = 常勤研究員、下線 = 非常勤研究員等

1 論文 (誌上発表) : 原著

1. Okamoto S, Yamada A, Kobayashi E, Liang J. Socioeconomic inequity in access to health and long-term care among older people. *International Journal for Equity in Health*, 24:28, 2025. (査読あり) (IF: 4.5, 2023)
2. Seino S, Abe T, Nofuji Y, Hata T, Shinkai S, Kitamura A, Fujiwara Y. Dose-response associations between physical activity and sedentary time with functional disability in older adults with or without frailty: a prospective cohort study. *Front Public Health*, 12, 1357618, 2024. (査読あり) (IF: 3.0, 2023).
3. Taniguchi Y, Kitamura A, Hata T, Fujita K, Abe T, Nofuji Y, Seino S, Yokoyama Y, Shinkai S, Fujiwara Y. Frailty trajectories and its associated factors in Japanese older adults. *The Journal of Frailty & Aging*, 13(3), 233-239, 2024. (査読あり) (IF: 3.3, 2023).
4. Nakada T, Kurotani K, Kozawa T, Seino S, Murota S, Eto M, Shimasawa J, Shimizu Y, Tsurugano S, Katsukawa F, Sakamoto K, Washizaki H, Ishigaki Y, Sakamoto M, Takadama K, Yanai K, Matsuo O, Kameue C, Suzuki H, Ohkawara K. A real-time web-based intervention with a multi-component group-based program for older adults: single-arm feasibility study. *Healthcare*, in press. (査読あり) (IF: 2.4, 2023)
5. Nakada T, Kurotani K, Seino S, Kozawa T, Murota S, Eto M, Shimasawa J, Shimizu Y, Tsurugano S, Katsukawa F, Sakamoto K, Washizaki H, Ishigaki Y, Sakamoto M, Takadama K, Yanai K, Matsuo O, Kameue C, Suzuki H, Ohkawara K. Health literacy and internet use among Japanese older adults: a gender-stratified cross-sectional analysis of the moderating effects of neighborhood relationships. *Healthcare*, in press. (査読あり) (IF: 2.4, 2023)
6. Hinakura K, Sakurai R, Sasai H, Ogawa S, Seino S, Hata T, Fujiwara Y, Awata S. Characteristics of wearable activity tracker users and their association with health-management satisfaction among older Japanese adults. *Gerontol Geriatr Med*, in press. (査読あり) (IF: 1.5, 2023)
7. 小林江里香. 高齢者の社会とのつながりにおける時代的变化 : JAHEAD/NSJE 1987-2021. *老年社会科学*, 46(4), 印刷中 (査読なし)
8. 小島みさお, 東島弘子. 特定福祉用具販売種目のモニタリングやメンテナンスの実態 : 生活環境を整える福祉用具専門相談員のアンケートから. *環境福祉学研究*. 9(1) :19-30, 2024 (査読あり)
9. 森 裕樹, 清野 諭, 山下真里, 横山友里, 植田拓也, 小林江里香, 内田勇人, 藤原佳典. 大都市在住後期高齢者における通いの場への参加状況とその関連要因 : 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に着目した検討. *応用老年学*, 18, 23-35, 2024. (査読あり)

## 2 論文（誌上発表）：総説

1. 菊池宏幸, 清野諭, 野藤悠, 植田拓也, 井上茂. 身体活動・運動分野のロジックモデルとアクションプランの例：運動習慣者割合の増加. 健康教育学会誌, 32 (Special issue), S85-S93, 2024. (査読あり)
2. 成田美紀, 清野諭. 栄養・食生活分野のロジックモデルとアクションプランの例：低栄養傾向高齢者の減少に向けて. 健康教育学会誌, 32 (Special issue), S35-S42, 2024. (査読あり)
3. 清野諭. 高齢期のフレイル予防と身体活動・運動の要点：最新のガイドラインを踏まえて. ILSI Japan, 160, 41-51, 2024. (査読なし)
4. 竹内真純, 張佳潔, 小林江里香. コロナ禍に何が研究されたのか? : COVID-19 が高齢者に与えた影響を検討した縦断研究に関する計量書誌学的文献レビュー. 老年社会科学 (印刷中) (査読あり)

## 3 論文（誌上発表）：その他

1. Nakada T, Kozawa T, Seino S, Murota S, Eto M, Shimasawa J, Shimizu Y, Tsurugano S, Katsukawa F, Sakamoto K, Washizaki H, Ishigaki Y, Sakamoto M, Takadama K, Yanai K, Matsuo O, Kameue C, Suzuki H, Kurotani K, Ohkawara K. A community-based intervention to enhance subjective well-being in older adults: study design and baseline participant profiles. Healthcare, 12(3), 322, 2024. (査読あり) (IF: 2.4, 2023)
2. Nakagawa T, Kobayashi E. Let us move forward; Comment on “are generations a useful concept?” Acta Psychologica, 246, 104286, 2024. (査読あり) (IF: 2.1, 2023)
3. 清野諭, 野藤悠, 植田拓也, 根本裕太, 倉岡正高, 高橋淳太, 森裕樹, 秦俊貴, 北村明彦, 小林江里香, 村山洋史, 本川佳子, 服部真治, 山田実, 近藤克則, 荒井秀典, 藤原佳典. 通いの場の取組をPDCAサイクルに沿って推進・評価するためのフレームワーク：ACT-RECIPE. 日本公衆衛生雑誌, 71(8), 418-429, 2024. (査読あり)
4. 野藤悠, 新開省二, 大須賀洋祐, 清野諭, 成田美紀, 野中久美子, 横山友里, 萩原静江, 藤倉とし枝, 藤原佳典, 村山洋史. 「高齢者が仕事として担うフレイル予防教室運営」の普及可能性と課題: 埼玉県シルバー人材センター連合本部の取組. 日本公衆衛生雑誌, 印刷中. (査読あり)

## 4 学会発表（国際）

1. Taniguchi Y, Kitamura A, Hata T, Fujita K, Abe T, Nofuji Y, Seino S, Yokoyama Y. Frailty trajectories and its associated factors in Japanese older adults. Gerontological Society of America 2024 Annual Scientific Meeting, Seattle, 2024.11.13-16.
2. Takeuchi M: The Psychosocial impacts of ageism: findings from surveys in Japan. (Symposium: East Meets West: Working Together Toward an Age-Inclusive Society Through Research on Ageism). The 2024 Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA), Seattle, WA, 2024.11.13-16.
3. Takeuchi M, Fukuzawa A, Kobayashi T: Exploring the relationship between Internet use and

belief in conspiracy theories among older adults in Japan. The 2024 Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA), Seattle, WA, 2024.11.13-16.

## 5 学会発表（国内）

1. 小島みさお, 清野諭, 倉岡正高, 小宮山恵美, 山中信, 小林江里香, 藤原佳典: 大都市在住高齢者男性を対象とした頻尿・尿失禁予防講座参加者の下部尿路症状と骨盤底筋体操継続の実態～フレイル予防のための多様な場作りを目指した取り組みの一例から～. 第37回日本老年泌尿器科学会, 和歌山, 2024.5.17-18.
2. 小島みさお, 清野諭, 横山友里, 倉岡正高, 森裕樹, 小宮山恵美, 谷出敦子, 山中信, 秦俊貴, 植田拓也, 小林江里香, 藤原佳典: 大都市在住高齢者における情報通信技術機器の目的別利用割合: 記述疫学研究. 第76回日本家政学会, 名古屋, 2024.5.25-26.
3. 小林江里香: 高齢者の社会関係の時代的・世代的変化 —JAHEAD/NSJEを中心に (シンポジウム「日本の高齢者の時代的・世代的変化; 実証データからみた2025年問題と今後」). 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良, 2024.6.1-2.
4. 村山陽, 横田恵理, 長谷部雅美, 山崎幸子, 小林江里香: 経済的脆弱性が高い中高年者における援助要請の抑制要因の解明. 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良, 2024.6.1-2.
5. 村山陽: 研究と現場を結ぶ. 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良, 2024.6.1-2.
6. 小島みさお, 清野諭, 横山友里, 倉岡正高, 植田拓也, 森裕樹, 小宮山恵美, 谷出敦子, 山中信, 秦俊貴, 小林江里香, 藤原佳典: 大都市在住高齢者における情報通信技術機器の利用目的と精神的健康との関連. 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良, 2024.6.1-6.2.
7. 竹内真純, 張佳潔, 小林江里香. コロナ禍が高齢者に与えた影響に関する研究のシステマティックレビュー: 何が研究されたのか? 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良大学, 2024.6.1-2.
8. 平松正和, 村山陽, 横山友里, 清野諭, 山崎幸子, 藤原佳典, 小林江里香. 単身中高年者における主観的健康感と食生活の関連. 第66回日本老年社会科学会, 奈良, 2024.6.1.
9. 藤原佳典, 清野諭, 秦俊貴, 野藤悠, 横山友里, 阿部巧, 成田美紀, 森裕樹, 小林江里香, 新開省二: 大都市地域在住高齢者における食行動と健康の関連: 共食相手についての検討. 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良, 2024.6.1-6.2.
10. 倉岡正高, 清野諭, 横山友里, 小島みさお, 谷出敦子, 山中信, 小宮山恵美, 森裕樹, 植田拓也, 藤原佳典. 大都市高齢者の災害時における手助けの可否とフレイルおよび世代間交流との関連. 老年社会科学会第66回大会, 奈良, 2024.6.1-2.
11. 倉岡正高, 清野諭, 横山友里, 小島みさお, 谷出敦子, 山中信, 小宮山恵美, 森裕樹, 植田拓也, 藤原佳典: 大都市在住高齢者における情報通信技術機器の利用目的と精神的健康との関連. 日本老年社会科学会 第66回大会, 奈良, 2024.6.1-2.
12. 相良友哉, 藤田幸司, 山城大地, 森裕樹, 植田拓也, 倉岡正高, 服部真治, 中村一朗, 澤岡詩野, 藤原佳典: 専門職が地域の居場所と連携する上で何が妨げになっているか?: 全国の生活支援コーディネーターへの調査結果より. 日本老年社会科学会第66回大会, 奈良,

2024.6.1-6.2.

13. 谷口優, 清野諭, 池内朋子, 秦俊貴, 新開省二, 北村明彦, 藤原佳典. 都市部在住高齢者における犬の飼育が要介護認知症発症に及ぼす影響. 老年社会科学会第 66 回大会, 奈良, 2024.6.1-2.
14. 清野諭, 阿部巧, 野藤悠, 秦俊貴, 新開省二, 藤原佳典. 高齢者の身体活動量・座位時間と介護保険認定リスクとの量反応関係: フレイルの有無別の検討. 第 66 回日本老年医学会学術集会, 愛知, 2024.6.13-15.
15. 藤原佳典, 秦俊貴, 野藤悠, 横山友里, 阿部巧, 山下真里, 森裕樹, 新開省二, 清野諭. 高齢期の就業はフレイル予防に有効か? 性・就労状況別の検討. 第 66 回日本老年医学会学術集会, 愛知, 2024.6.13-15.
16. 根本裕太, 阿部巧, 野藤悠, 横山友里, 清野諭, 天野秀紀, 新開省二, 藤原佳典, 村山洋史. 地域在住高齢者における身体・認知機能の経年変化: 10 年差のコホート間比較. 第 66 回日本老年医学会学術集会, 愛知, 2024.6.13-15.
17. 雛倉圭吾, 桜井良太, 笹井浩行, 清野諭, 秦俊貴, 藤原佳典, 栗田主一. 高齢者におけるウェアラブルアクティビティトラッカーの使用意向とその関連要因. 第 66 回日本老年医学会学術集会, 愛知, 2024.6.13-15.
18. 小島みさお, 東島弘子: 認知症を有する在宅要介護高齢者の紙おむつ利用支援における関与実態と困難感～福祉用具専門相談員と介護支援専門員の質問紙調査から～. 日本認知症ケア学会 第 24 回大会, 東京, 2024.6.15-16.
19. 小島みさお, 東島弘子: 福祉用具専門相談員における介護ロボットの積極的関与意向. 第 5 回福祉用具専門相談員研究大会, 大阪 (ハイブリッド), 2024.6.19.
20. 尾形真規子, 平松正和, 岸昌代, 澤田めぐみ, 前明日美, 堀春奈, 田中寛. 若年女性の骨における体脂肪及び内臓脂肪量測定を含めた栄養状態評価の意義の検討. 第 42 回日本骨代謝学会学術集会, 沖縄, 2024.7.1.
21. 小澤多賀子, 清野諭, 黒江悦子, 矢野敦大, 田中喜代次, 大田仁史. シルバーリハビリ体操指導士における体操普及活動とフレイル該当率の実態. 第 32 回日本健康教育学会学術大会, 長野, 2024.7.6-7.
22. 竹内真純, 福沢愛, 小林江里香, 片桐恵子. 「若いから」「高齢だから」生じる年齢差別: 性別・年齢による差と心身への影響. 日本社会心理学会第 65 回大会, 日本大学 (オンライン), 2024.8.31-9.1.
23. 菅原育子, 小林江里香: 中高年者の近隣関係と主観的ウェルビーイング「家を行き来する間柄」と「互いの家族構成を知る間柄」の比較をとおして. 日本社会心理学会第 65 回大会, 日本大学 (オンライン), 2024.8.31-9.1.
24. 清野諭, 阿部巧, 野藤悠, 横山友里, 天野秀紀, 谷口優, 新開省二, 藤原佳典, 村山洋史. 高齢者の筋量指標として何が有用か: 総死亡の予測因子としての観点から. 第 78 回日本体力医学会大会, 佐賀, 2024.9.2-4.
25. 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 小林江里香: 単身中高年者の孤立・困窮リスク認知が援助要請に及ぼす影響. 日本心理学会第 88 回大会, 熊本, 2024.9.6-8.

26. 平松正和, 伊藤智子, 堀春奈, 沼澤明里, 栃山友美, 岸昌代, 田中寛. 公衆栄養学臨地実習前後の管理栄養士に関するコンピテンシーの変化. 第71回日本栄養改善学会, 大阪, 2024.9.7.
27. 堀春奈, 伊藤智子, 平松正和, 沼澤明里, 栃山友美, 岸昌代, 田中寛. 臨床栄養学臨地実習前後の管理栄養士に関するコンピテンシーの変化. 第71回日本栄養改善学会, 大阪, 2024.9.7.
28. 森 裕樹: 高齢者の見守りに及ぼす地域の居場所の特徴. 日本犯罪心理学会第62回大会, 広島, 2024.9.14-15.
29. 森 裕樹: 住民主体の通いの場立ち上げプログラムの実施と評価. 日本社会心理学会第65回大会, オンライン, 2024.9.19-10.3.
30. 村山陽 長谷部雅美, 小林江里香: 生活困窮者自立支援事業の相談員に求められるスキルとその習得方法. 日本社会福祉学会 第72回秋季大会, 愛知, 2024. 10.26-27.
31. 長谷部雅美, 村山陽, 小林江里香: 地域若者サポートステーションにおける中年者の孤独・孤立対策の実態: 中年期からの孤独・孤立予防に向けた相談機関の役割を考える. 日本社会福祉学会第72回秋季大会, 名古屋, 2024. 10.26-27.
32. 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 小林江里香: 中高年者における孤独・孤立予防の実態と関連要因. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024. 10.29-31.
33. 平松正和, 清野諭, 秦俊貴, 森裕樹, 村山陽, 小林江里香. 中高年者における孤食と精神的健康の関連: 食品摂取多様性スコアによる層別解析. 第83回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024.10.31.
34. 清野諭, 秦俊貴, 森裕樹, 新開省二, 藤原佳典, 小林江里香. コロナ禍は介護保険申請と死亡を増加させたのか: 都内高齢者コホートの分割時系列分析. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
35. 秦俊貴, 森裕樹, 清野諭, 村山洋史, 谷出敦子, 山中信, 倉岡正高, 植田拓也, 藤原佳典. 都内高齢者における新規要支援・要介護認定数と総死亡数への COVID-19 の影響. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
36. 藤田幸司, 清野諭, 秦俊貴, 森裕樹, 小林江里香, 藤原佳典: 地域高齢者における外出頻度と要支援・要介護の新規発生リスク: コホート研究. 第83回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024.10.29-10.31.
37. 雛倉圭吾, 桜井良太, 笹井浩行, 清野諭, 山下真里, 森裕樹, 小林江里香, 藤原佳典: 特殊詐欺被害に遭う高齢者の特徴. 第83回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024.10.29-10.31.
38. 今田恒夫, 清野諭. 山形コホート研究の成果を生かした Well-Being アプリの社会実装. シンポジウム 34: ポジティブ心理要因に着目した健康づくりと社会実装を考える. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
39. 中本五鈴, 谷出敦子, 根本裕太, 植田拓也, 森裕樹, 田中元基, 秦俊貴, 山中信, 倉岡正高, 小林江里香, 藤原佳典: 都市部の高齢者における通いの場への参加と睡眠休養感との関連. 第83回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024.10.29-10.31.

40. 成田美紀, 清野諭, 秦俊貴, 大曾根由実, 野藤悠, 横山友里, 阿部巧, 森裕樹, 小林江里香, 藤原佳典, 新開省二: 地域在住高齢者における喫食状況と主観的健康感および多幸感との関連. 第83回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024.10.29-10.31.
41. 植田拓也, 根本裕太, 小林江里香, 田中元基, 倉岡正高, 谷出敦子, 山中信, 秦俊貴, 森裕樹, 藤原佳典: 重度フレイル高齢者の通いの場への参加と地域からの役割期待感の関連. 第83回日本公衆衛生学会, 北海道, 2024.10.29-10.31.
42. 赤尾瑠琉, 秦俊貴, 成田美紀, 渡邊慎二, 古谷千寿子, 清野諭, 藤原佳典, 新開省二. オンラインアプリ『バランス日記』を用いたフレイル予防の実証研究. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
43. 野藤悠, 吉田由佳, 森知美, 横山友里, 上野貴之, 清野諭, 成田美紀, 新開省二, 藤原佳典, 村山洋史. 「シルバー人材センターが担うフレイル予防教室」への参加による介護費抑制効果. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
44. 上野貴之, 野藤悠, 吉田由佳, 森知美, 横山友里, 清野諭, 成田美紀, 新開省二, 藤原佳典, 村山洋史. 兵庫県養父市における「フレイル予防教室」の取組【第2報】: ウェルビーイング. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
45. 山下真里, 清野諭, 稲垣宏樹, 宇良千秋, 枝広あや子, 杉山美香, 多賀努, 宮前史子, 本川佳子, 横山友里, 平野浩彦, 新開省二, 岡村毅, 栗田主一. 大都市在住高齢者における精神的健康と居住年数の関連. 第83回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024.10.29-31.
46. 村山陽, 横田恵理, 長谷部雅美, 山崎幸子, 小林江里香: 中高年の生活不安定層における孤立状況と援助ニーズとの関連: 特例貸付アンケート調査の二次解析より. 第19回日本応用老年学会大会, 東京, 2024.11.9-10.
47. 小島みさお, 倉岡正高, 小宮山恵美, 山中信, 清野諭, 横山友里, 植田拓也, 森裕樹, 小林江里香, 藤原佳典: 通いの場等の取組みを PDCA サイクルに沿って推進する実践的研究(2): 大都市団地在住の高齢男性における社会的孤立解消のための取組み. 日本応用老年学会 第19回大会, 東京, 2024.11.9.
48. 小島みさお, 東島弘子: 男性家族介護者の排泄介護負担と福祉用具利用にみる専門職の意識と実態～福祉用具専門相談員と介護支援専門員のアンケート調査より～. 第20回環境福祉学会, 千葉, 2024.11.9.
49. 森裕樹, 小島みさお, 清野諭, 横山友里, 倉岡正高, 小宮山恵美, 谷出敦子, 山中信, 植田拓也, 小林江里香, 藤原佳典: 通いの場等の取組みを PDCA サイクルに沿って推進する実践的研究(1): 東京都 A 区における地域診断の試み. 日本応用老年学会 第19回大会, 東京, 2024.11.9.
50. 清野諭, 秦俊貴, 森裕樹, 新開省二, 藤原佳典, 小林江里香: COVID-19の流行は要支援・要介護認定率を増加させたのか: 介護保険事業状況報告月次データを用いた分割時系列分析. 第19回日本応用老年学会大会, 神奈川, 2024.11.9-10.
51. 植田拓也, 根本裕太, 小林江里香, 田中元基, 倉岡正高, 谷出敦子, 山中信, 秦俊貴, 森裕樹, 藤原佳典: 多様な通いの場のタイプ別での参加者特性の検討. 第11回日本予防理学療法学会学術大会, 宮城, 2024.11.9-10.

52. 赤尾瑠琉, 秦俊貴, 成田美紀, 渡邊慎二, 古谷千寿子, 清野諭, 藤原佳典, 新開省二. オンラインアプリ「バランス日記」を用いたフレイル予防の実証研究：実行可能性の検討. 第 19 回日本応用老年学会, 神奈川, 2024.11.9-10.
53. 山下真里, 野藤悠, 山城大地, 相良友哉, 松永博子, 清野諭, 小川敬之, 藤原佳典. 地域在住高齢者における就労的活動の実態と活動に興味をもつ人の特徴. 第 19 回日本応用老年学会, 神奈川, 2024.11.9-10.
54. 村山陽：みんなが参加しやすい世代間交流に向けて. 日本世代間交流学会第 15 回全国大会, 東京, 2024. 12.22.
55. 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 小林江里香：中高年者の地域における多世代共生意識の醸成に関連する要因. 日本世代間交流学会第15回全国大会, 東京, 2024.12.22.
56. 小島みさお, 倉岡正高, 小宮山恵美, 清野諭, 森裕樹, 植田拓也, 小林江里香, 藤原佳典：多世代交流促進と地域資源連携の取組：大都市団地高齢者の孤立予防に向けた伴走支援報告. 日本世代間交流学会第 15 回全国大会, 東京, 2024. 12.22.
57. 竹内真純. 若年・中年・高齢者が受ける年齢差別の実態：自由記述データの質的研究. 日本世代間交流学会第 15 回全国大会, 東京, 2024. 12.22.
58. 平松正和, 村山陽, 清野諭, 秦俊貴, 森裕樹, 小林江里香, 藤原佳典：地域在住高齢者における世代が異なる家族との共食が精神的健康に与える影響：2 年間の縦断研究 日本世代間交流学会第 15 回全国大会, 東京, 2024. 12.22.
59. 山崎幸子, 村山陽, 長谷部雅美, 小林江里香：単身中高年者の居場所—その機能と場の形成を阻む要因. 日本世代間交流学会第15回全国大会, 東京, 2024.12.22.
60. 清野諭, 今田恒夫. 中高齢者の日常身体活動量・余暇運動量と自覚的ストレスとの量反応関係：山形県コホートにおける横断研究. 第 35 回日本疫学会学術総会. 2025.2.12-14.
61. 平松正和, 尾形真規子, 田中寛, 岸昌代, 堀春奈, 前明日美, 紀まき子, 佐藤加代子. 若年女性の栄養状態評価における体脂肪及び内臓脂肪量の意義の検討（第二報）. 第 28 回日本病態栄養学会, 京都, 2025.1.17.
62. 黒谷佳代, 中田翼, 清野諭, 大河原一憲. 食事の多様性とうつ傾向との横断的関連：CDC プロジェクト. 第 35 回日本疫学会学術総会. 2025.2.12-14.
63. 中田翼, 黒谷佳代, 小澤多賀子, 清野諭, 大河原一憲. 地域在住高齢者へのリアルタイムオンライン複合的介入の実現可能性：調布・デジタル・長寿運動. 第 35 回日本疫学会学術総会. 2025.2.12-14.
64. 上野貴之, 野藤悠, 吉田由佳, 森知美, 横山友里, 清野諭, 成田美紀, 新開省二, 成田美紀, 新開省二, 藤原佳典, 村山洋史. 第 35 回日本疫学会学術総会. 2025.2.12-14.
65. 森裕樹, 城實佳也, 清野諭, 秦俊貴, 藤原佳典, 小林江里香. 都市部居住者を対象としたフレイル予防活動の普及・実装プログラムの実施と評価. 日本環境心理学会第 18 回大会, 千葉, 2025.3.1.
66. 清野諭, 五領田小百合, 竹林正樹. 地域住民の野菜購入行動を促進するためのナッジ活用型 POP 広告の開発. 第 26 回日本健康支援学会大会. 2025.3.7-8.

67. 谷出敦子, 清野諭, 横山友里, 小島みさお, 森裕樹, 小宮山恵美, 植田拓也, 倉岡正高, 藤原佳典. 地域在住高齢者における社会参加と地域への信頼感の関連: 横断的マルチレベル分析. 第26回日本健康支援学会大会, 神奈川, 2025.3.7-8.
68. 野藤悠, 上野貴之, 岩本海渡, 上杉昌也, 檜崎兼司, 横山友里, 清野諭, 阿部巧, 吉田由佳, 森知美, 小畑美由紀, 村山洋史. 住民主体の介護予防活動への参加に影響する要因の検討: 養父コホート研究. 第26回日本健康支援学会大会, 神奈川, 2025.3.7-8.
69. 森裕樹, 田中元基, 藤田幸司, 中本五鈴, 倉岡正高, 小宮山恵美, 谷出敦子, 大曾根由実, 植田拓也, 小島みさお, 小林江里香, 藤原佳典: 多様な通いの場の立ち上げから継続拡大に至るプロセスの整理. 日本社会関係学会第5回研究大会, 埼玉, 2025.3.22-3.23.

## 6 著書等

1. 小林江里香: 感染症流行下での訪問調査 —全国高齢者パネル調査における2021年調査の経験より—. 中央調査報, 799, 1-7, 2024.
2. 村山陽: 研究発表報告(1) 研究発表を終えて, 応用心理学のクロスロード, Vol16, 2024.4.14.
3. 小林江里香: 科学研究費助成事業研究成果報告書(基盤研究A) 「高齢期の家族・仕事・地域・経済と健康のダイナミクス: コホート・年齢差の研究」, 2024.6.
4. 小林江里香: 総括研究報告—中年期からの孤立・困窮予防プログラムの実装化に向けた研究. 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 『中年期からの孤立・困窮予防プログラムの実装化に向けた研究』令和5年度 総括・分担研究報告書, 1-7, 2024.5.
5. 小林江里香: 1章 中年者のための「ライフスタイルチェックリスト」の開発. 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 『中年期からの孤立・困窮予防プログラムの実装化に向けた研究』令和5年度 総括・分担研究報告書, 8-49, 2024.5.
6. 小林江里香: 3章 単身中高年者の問題類型別にみた情報・相談機関へのアクセス. 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 『中年期からの孤立・困窮予防プログラムの実装化に向けた研究』令和5年度 総括・分担研究報告書, 56-64, 2024.5.
7. 村山陽: 2章 単身者の孤立・困窮予防のための参加型プログラムの開発. 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 『中年期からの孤立・困窮予防プログラムの実装化に向けた研究』令和5年度 総括・分担研究報告書, 50-55, 2024.5.
8. 長谷部雅美・村山陽: 5章 孤独・孤立予防における公的相談機関の役割. 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 『中年期からの孤立・困窮予防プログラムの実装化に向けた研究』令和5年度 総括・分担研究報告書, 74-94, 2024.5.
9. 村山陽: 高齢者の力を生かす世代間交流, 高齢者施設 × 子どもの居場所のススメ, NPO法人新座子育てネットワーク, 2024.9.20, 6-7.
10. 小林江里香: 孤立と孤独は何が違う? 何が問題? 第171回老年学・老年医学公開講座第171

回公開講座講演集, 2024.10.

11. 村山陽：必要なときに、助けを求められますか？～渋沢栄一の精神から学ぶ～，第171回老年学・老年医学公開講座第171回公開講座講演集, 2024.10.
12. 小林江里香. インフォーマル・フォーマルな支援の受領と関連要因における経済的格差. 孤独・孤立の実態把握に関する研究会「人々のつながりに関する基礎調査－令和3年、4年、5年－ 調査結果に関する有識者による考察」, 26-36, 2024.10. [https://www.cao.go.jp/kodoku\\_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r5/pdf/kosatsu\\_r5.pdf](https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r5/pdf/kosatsu_r5.pdf)
13. 小島みさお. 膀胱センサー.リハビリテーション・エンジニアリング. 39(2), 92-95, 2024. (査読なし)
14. 小島みさお. 日常をあきらめない！コンチネンス・フレイル予防の取り組み～尿失禁予防で、もっと社会参加を～.元気！ながさき. 97, 1-3, 2024. (査読なし)
15. 森 裕樹, 秦 俊貴, 田中元基, 植田拓也：実践事例から紐解く多様な通いの場推進のしおり. 東京都健康長寿医療センター研究所東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 2024. (査読なし)
16. 森 裕樹, 植田拓也：令和5年度区市町村ヒアリング結果報告. 東京都健康長寿医療センター研究所東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター. 2024. (査読なし)
17. 森 裕樹, 藤原佳典：元気高齢者の男性にアプローチした通いの場の包括的モデル構築と社会実装. 2022年度ジェロントロジー研究報告, 173-180, 2024. (査読なし)
18. 中本五鈴, 森 裕樹, 秦 俊貴, 松山洗斗, 植田拓也：多様な通いの場の担い手となりうる住民層に関する調査：アンケート調査報告書. 2025. (査読なし)
19. 長谷部雅美. 社会福祉学の世界を知ろう. 生活デザインガイド 2024:資料集+成分表. 大修館書店, 69, 2024年4月. (査読なし)
20. 清野諭. 第11回 口腔ケア②：口腔ケアのちょい足しプログラム. 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 311, 9, 2024. (査読なし)
21. 清野諭. 第12回 社会参加①：人や社会とのつながりが寿命を延ばす！？ 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 312, 9, 2024. (査読なし)
22. 清野諭. 第13回 社会参加②：無理なく長続きさせるための目安. 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 313, 9, 2024. (査読なし)
23. 清野諭. 第14回 社会参加③：地域の通いの場とそのタイプ. 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 314, 9, 2024. (査読なし)
24. 清野諭. 第15回 社会参加④：通いの場への参加がもたらす健康効果. 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 315, 9, 2024. (査読なし)
25. 清野諭. 第16回 運動の実践パターン：コツコツ型 vs. 週末型. 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 316, 9, 2024. (査読なし)
26. 清野諭. 第17回 ぐっすり眠れていますか？最新の睡眠ガイドをチェック. 連載 健康長寿：“ちょい足し”のススメ. 情報誌「のうねん」, 印刷中. (査読なし)

27. 清野諭. 今からできる健康づくり：合言葉は“ちょい足し”. 東京くらしねっと, 5-6 月号, 2-4, 2024. (査読なし)
28. 北村明彦, 清野諭. 自治体による予防・啓発活動. 第4章フレイル・ロコモの予防と介入. 秋下雅弘 (編集代表) フレイル・ロコモのグランドデザイン, 210-215. (査読なし)
29. 清野諭. 予防のための包括的プログラム. 第4章フレイル・ロコモの予防と介入. 秋下雅弘 (編集代表) フレイル・ロコモのグランドデザイン, 188-192, 2024. (査読なし)
30. 清野諭. 第21章 コクラン：信頼できるエビデンス、十分な情報による意思決定、健康の向上. 本田貴紀, 天笠志保, 川上諒子, 陳三妹, 門間陽樹監訳. 健康研究におけるシステマティックレビュー (Systematic Reviews in health research 翻訳本) . 393-402, 2024.
31. 清野諭. 第22章 ガイドライン作成におけるシステマティックレビューの活用:GRADEアプローチ. 本田貴紀, 天笠志保, 川上諒子, 陳三妹, 門間陽樹監訳. 健康研究におけるシステマティックレビュー (Systematic Reviews in health research 翻訳本) . 403-424, 2024.
32. 清野諭. 第27章 包括的メタアナリシスソフトウェア. 本田貴紀, 天笠志保, 川上諒子, 陳三妹, 門間陽樹監訳. 健康研究におけるシステマティックレビュー (Systematic Reviews in health research 翻訳本) . 511-525, 2024.
33. 清野諭. 高齢者の身体活動・運動の要点：「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」を踏まえて. 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センターメールマガジン, 印刷中. (査読なし)
34. 田中喜代次, 清野諭, 山下佐知子, 松岡喜美子, 中垣内真樹. フレイル対策 (frailty抑制策) の重要性. 江東微研ジャーナル友, 印刷中. (査読なし)

## 7 特許

該当なし

## 8 その他

<受賞>

1. 清野諭, 秦俊貴, 森裕樹, 新開省二, 藤原佳典, 小林江里香：COVID-19の流行は要支援・要介護認定率を増加させたのか：介護保険事業状況報告月次データを用いた分割時系列分析. 第19回日本応用老年学会大会, 神奈川, 2024.11.9-10. 【優秀演題賞】

<プレスリリース>

小林江里香, 村山陽：「プレシニアのためのライフスタイルチェック」Webサイトを開設しました. 2024. 11. 26.